

時弘 哲治 氏

(東京大学大学院数理科学研究科)

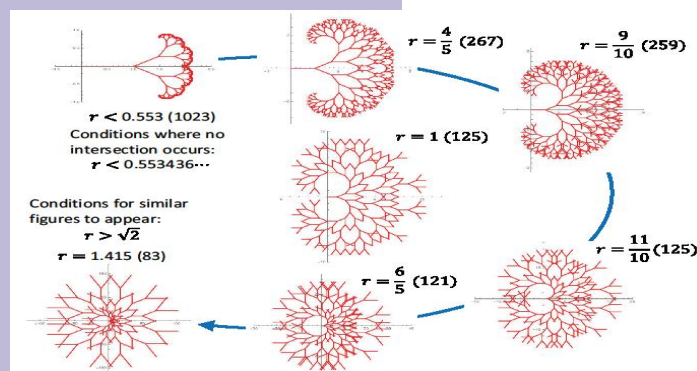
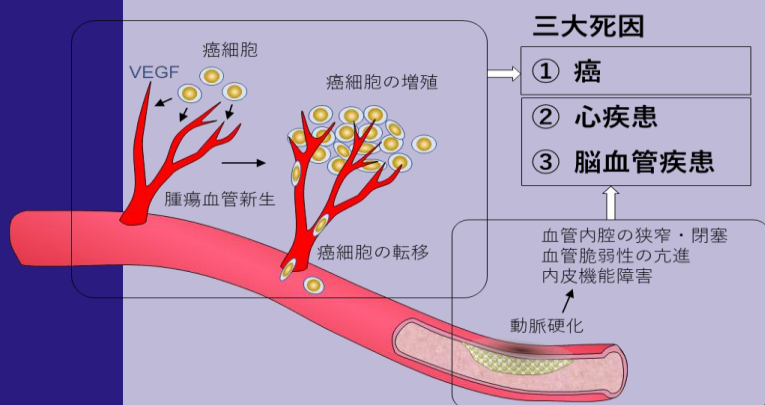


血管新生の数理モデル

既存の血管から新たな血管を生じ血管網が形成される現象を血管新生という。創傷治癒や胎盤の生成に必要な過程であるだけでなく、血管新生を制御することによって悪性新生物(癌)の増殖や転移の抑制が可能となるため、基礎医学の重要なテーマの一つである。

本講演では、in vivo および in vitro での血管新生実験結果とそれに対する数理モデル、特に、内皮細胞を楕円体粒子としてモデル化した2次元及び3次元の離散力学系モデルについて紹介する。

また、血管網の特徴の指標となりうる(マルチ)フラクタル次元解析についてトイモデルを用いて説明したい。



7月21日(水) 17:00-18:30

オンライン開催 (Zoom) , 参加費無料

↓↓参加登録はこちら↓↓



参加ご希望の方は、右のQRコードより参加登録をお願いいたします。登録締切：7/19(月)

コーディネーター：坪井 俊 (武蔵野大学工学部数理工学科 教授)

問い合わせ先：武蔵野大学数理工学センター

https://www.musashino-u.ac.jp/research/laboratory/mathematical_engineering/

世界の幸せをカタチにする。

